

第 98 期  
株主通信

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

 フジ日本精糖株式会社

証券コード：2114



## 企業理念

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します。

## 経営方針

- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- ③ 公正で透明性のある企業活動の推進
- ④ 社会に評価される企業価値の向上
- ⑤ 社会に貢献する企業市民活動の充実

### CONTENTS

トップインタビュー	.....P 2
セグメント別の状況	.....P 5
連結財務諸表	.....P 7
会社概要/株式情報	.....P 9
トピックス/ホームページのご案内	...P10
インフォメーション	.....裏表紙

### ● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田 和人が撮影した作品です。



撮影地 - 山梨県 山中湖 -  
「お花畑を渡る橋」

## トップインタビュー



代表取締役社長 櫻田 誠司

## 中期経営計画を 着実に遂行し、 次の10年に向けて前進。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様にご静かに哀悼の意を表すとともに、感染された方々が一刻も早く回復され、困難に立ち向かっている方々に平穏が戻りますよう心からお祈り申し上げます。

**Q** 当期（2021年3月期）の営業状況をご説明願います。

**A** 精糖事業とユニテックフーズ株式会社での減収を「イヌリン」がカバー。販管費の圧縮が利益を下支えしました。

当期は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を大きく受けた1年間でした。売上面では、主力の精糖事業が減収、連結子会社ユニテックフーズ株式会社による天然素材の添加物の販売も減少した一方、「イヌリン」の販売が国内・海外ともに拡大し、これをカバーする形となりました。利益面は、グループ全体として販管費の圧縮効果が下支えとなり、為替差益など営業外収益の増加も寄与しました。

結果として連結業績は、売上高189億92百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益14億36百万円（同3.7%減）、経常利益17億71百万円（同7.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益11億98百万円（同0.1%増）となり、ほぼ前期並みの水準を維持しました。

精糖事業は、コロナ禍を受けて外食産業やイベント、インパウンド関連の消費が減退し、特に期前半の落ち込みが大きかったことから、販売数量が前年を下回りました。

機能性素材事業のうち、ユニテックフーズ株式会社の営業状況においても同様にユーザーの最終製品の消費が減退したことから、関連素材の販売が減少しましたが、販管費の圧縮により、増益を確保することができました。

「イヌリン」の国内展開は、30品目以上の新規採用を頂き、引き続き好調に推移しました。コロナ禍を背景に健康増進への関心が高まる中、腸内環境の改善による免疫力向上や糖質オフ素材としての採用に加え、タンパク質補強製品の需要が増加する中、マスク効果や、食感改良の効果が認められたことにより、採用が広がりました。東南アジアを中心とする「イヌリン」の海外展開も、タイの飲料向けやフィリピンの乳製品向けなどの販売が伸びました。これらの成果により「イヌリン」の製造拠点であるタイ連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.（以下、FTI）は、大幅な増収を遂げました。

もう一つのタイ連結子会社DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd.が行っているロングライフのパン事業は、コロナ禍の中で、ロングライフの利点が評価され、タイ国内を中心に販売が好調に推移し、増収を果たしており、早期の黒字化に向けて一層の拡販を目指します。

**Q** 新発売の機能性表示食品「イヌリーナ」について伺います。

**A** 「トリプルヘルスクレーム」を打ち出した、スティックタイプの健康食品の完成形とも言える製品です。

2021年4月に発売した「イヌリーナ」は、毎日の食事とともに「イヌリン」を手軽に摂取していただける機能性表示食品です。従来から消費者向けに「イヌリン」を配合したスティックタイプの健康食品を開発・販売してきましたが、「イヌリーナ」は、三つの機能性表示（整腸作用、血中中性脂肪の低減効果、食後の血糖値上昇抑制効果）による「トリプルヘルスクレーム」を打ち出した製品です。

現在の取り扱いは、当社オンラインショップの通信販売のみですが、今後はさらに工夫して販路を拡げていく予定です。こうしたBtoC展開による消費者への直接アピールを通じて、消費者に「イヌリン」の認知度を上げ、その波及効果として、BtoBの採用拡大にもつなげてゆく考えです。

**Q** 中期経営計画に掲げる基本戦略の進捗はいかがですか？

**A** 「イヌリン」が非砂糖分野の成長ドライバーとして着実に育ち、海外展開による成長も牽引しています。

中期経営計画では、基本戦略として「非砂糖分野のさらなる拡大」「輸出入・三国間貿易による海外への挑戦」「社員教

育の強化と新人事制度の導入」「ESG（環境・社会・ガバナンス）経営の推進」の4項目を掲げ、業績については3年後の数値目標を毎期見直し、再設定しています。

「非砂糖分野のさらなる拡大」については、前述の通り「イヌリン」事業が国内・海外で順調に販売を伸ばしており、成長の牽引役として着実に育ってきました。またユニテックフーズ株式会社では、既存の主力3商品（ペクチン、ゼラチン、コラーゲン）の周辺領域を深掘りする一方、新たにHBS（ヘルス・ビューティー・スポーツ）分野の開拓を進めています。今後は、自社による製品開発に注力しつつ、他社との協業も開発段階から関与するなど、取り組みの幅を拡げていく考えです。

「輸出入・三国間貿易による海外への挑戦」は、FTI工場のあるタイ国及び周辺アジア諸国への「イヌリン」販売が成果を上げています。今後さらなる拡大に向け、生産力の増強やユーザーのニーズを満たす「イヌリン」商品の多様化に取り組んでいきます。

「社員教育の強化と新人事制度の導入」は、コロナ禍の影響を受け、当初の予定から遅れていた新人事制度の導入を2020年10月に実施しました。若手社員の育成に主眼を置き、部門間の人事交流・人材流動化や社外への出向を活発化させ、幅広く活躍できる次世代人材を育てながら、同時に管理職のマネジメント能力を高めていくことが狙いです。

当社は、これらの取り組みを通じて3年後に向けた増収・増益基調を確立しつつ、「ESG経営の推進」により企業としての持続可能性を高め、環境変化を乗り越えていきます。

**Q** 今期（2022年3月期）の見通しをお聞かせください。

**A** 期後半からの市場回復を前提として、連結ベースで増収を見込んでいます。

コロナ禍による市場への影響は、予断を許さないものの、現在の状況が前半まで続き、その後は次第に改善されていく前提で予算を組みました。その中で当社は、連結ベースで、増収を見込んでいますが、利益面については、精糖事業その他で原材料・製造コストも上昇しており、販売面での不確定要素も多いと考えざるを得ず、現時点では、減益を想定しています。

以上を前提として連結業績は、売上高194億円（当期比2.1%増）、営業利益13億円（同9.5%減）、経常利益15億円（同15.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益10億円（同16.6%減）を予想しています。

なお当期の期末配当は、予定通り1株当たり11円（前期同額）とさせていただきます。2022年3月期の期末配当については、今のところ同額を予定しています。

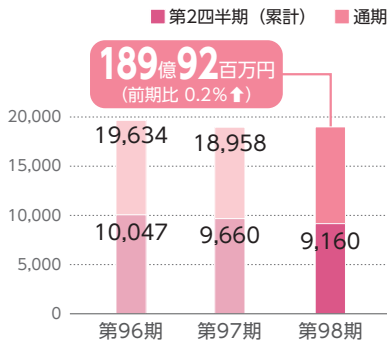
おかげさまで当社は、2021年10月1日をもって会社合併20周年を迎えます。この20年間は、株主の皆様、お客様をはじめ多くのステークホルダーの皆様にご支援いただき、精糖事業の生産合理化や、国内外における「イヌリン」事業の立ち上げ、軌道にのせるなど、成長を維持することができました。引き続き中期経営計画の着実な遂行により、次の10年に向けて前進し続けてまいります。



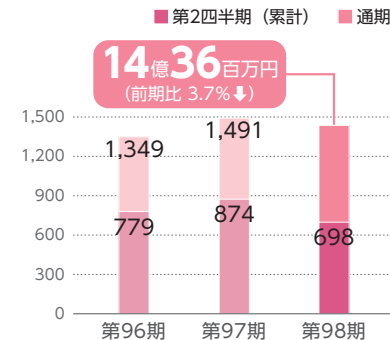
## 連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

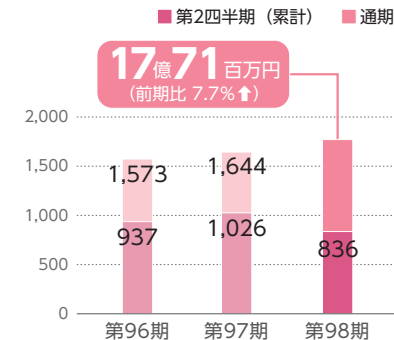
**売上高** 単位：百万円



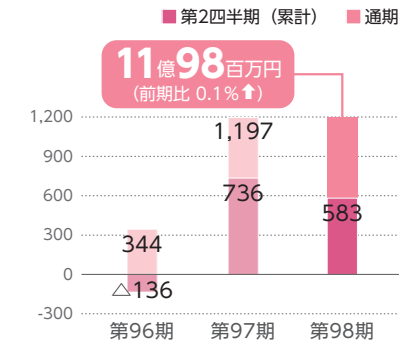
**営業利益** 単位：百万円



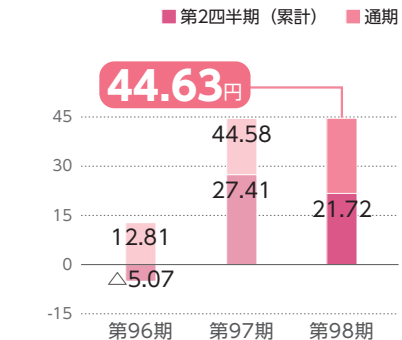
**経常利益** 単位：百万円



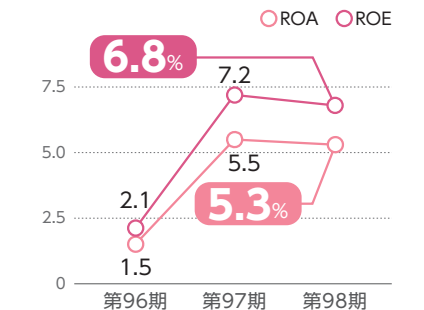
**親会社株主に帰属する当期純利益** 単位：百万円

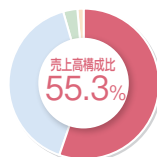


**1株当たり当期純利益** 単位：円



**総資産利益率 (ROA)**  
**自己資本利益率 (ROE)** 単位：%





### 精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

当期の概況

売上高：10,510百万円  
営業利益：1,579百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況は、ニューヨーク先物市場が期初10.39セント（1ポンド当たり）で始まり、新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済の減速からリスクオフの動きが継続し、2020年4月に9.05セントを付けました。その後はタイ国及び欧州地域の減産観測やブラジルでの干ばつ、原油高などもあり、砂糖需給について供給不足の観測が流れると一転、上昇基調に変わり、さらに世界的な金融緩和による余剰資金の流入などにより急騰し2021年2月に18.94セントを付けた後、14.77セントで期末を迎えました。

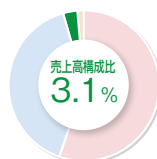
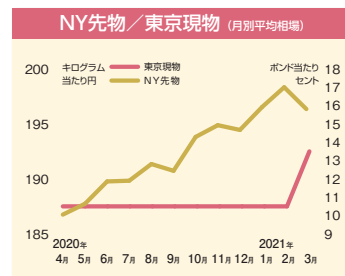
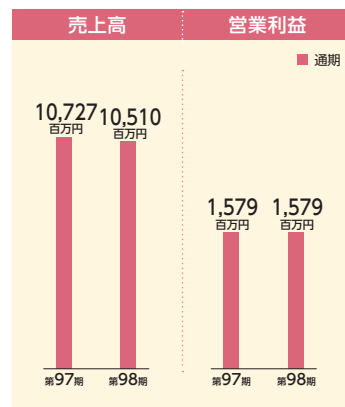
ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

期初	高値	安値	期末	平均
10.39	18.94	9.05	14.77	13.50

一方、国内製品市況は期初東京現物相場（日本経済新聞掲載）187円～188円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりましたが、期末直前の2021年3月に5円上昇し、192円～193円で期末を迎えました。

製品の荷動きについては、当連結会計年度の上半期は新型コロナウイルス感染症拡大により、大幅に消費が落ち込み前期割れの販売状況が続きました。その後、年末にかけて徐々に消費が回復してきましたが、年明けに緊急事態宣言が再発出され、消費回復に水をさすかたちとなり、通期の販売数量は前期を下回る結果となりました。利益面では販売数量が減少しましたが、販売管理費が減少したことで、ほぼ前期並みとなりました。

この結果、売上高は10,510百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益1,579百万円（同0.0%減）の減収減益となりました。



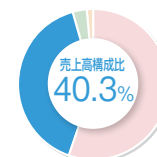
### 不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

当期の概況

売上高：581百万円  
営業利益：459百万円

不動産事業につきましては、2020年9月の本社移転に伴い、旧本社ビルのテナント賃料減少や本社移転費用などにより、売上高581百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益459百万円（同10.4%減）の減収減益となりました。



### 機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

当期の概況

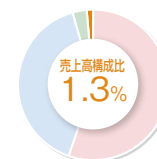
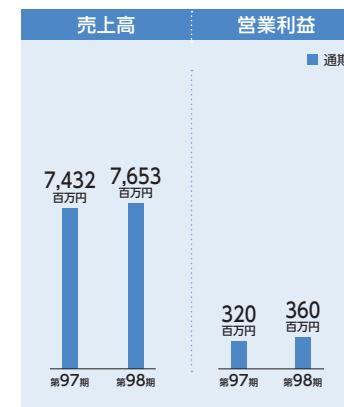
売上高：7,653百万円  
営業利益：360百万円

機能性素材事業につきましては、機能性食品素材「イヌリン」は、国内において大手ユーザーに機能性表示食品として新規採用されたことなどから販売数量は前期を上回りました。特にタンパク質補強製品の需要が高まるなか、マスクングや食感改良の効果が認められたこと、腸内環境改善による免疫効果向上がメディアで紹介されたことなどが拡販の後押しになりました。海外においては、タイで飲料などの新製品に採用されたこと、フィリピンでも粉末乳製品向けなどの採用により販売数量は前期比で大幅に伸長しました。

切花活力剤「キープ・フラワー」は、新型コロナウイルス感染症拡大でイベント需要が減り、業務用製品の取扱いが減少するなか、家庭向け巣ごもり需要の取り込みをすべくテレビCMの継続を行った結果、小売用製品は前期比で増収となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、新型コロナウイルス感染症拡大により、菓子、飲料などの消費が落ち込んだことから、主力製品のペクチン、ゼラチンの販売が減少し、前期比で減収となりました。

これらの結果、機能性素材事業全体で売上高7,653百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益360百万円（同12.5%増）の増収増益となりました。



### その他食品事業

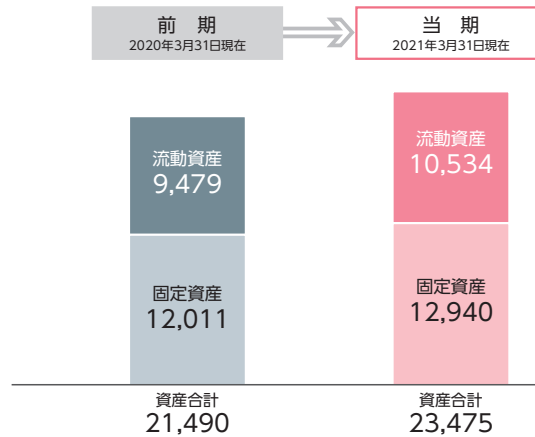
事業内容：タイ国においてパンの製造販売を行っております。

その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高247百万円（前年同期比24.6%増）、営業損失25百万円（前年同期 営業損失56百万円）の増収増益となりました。

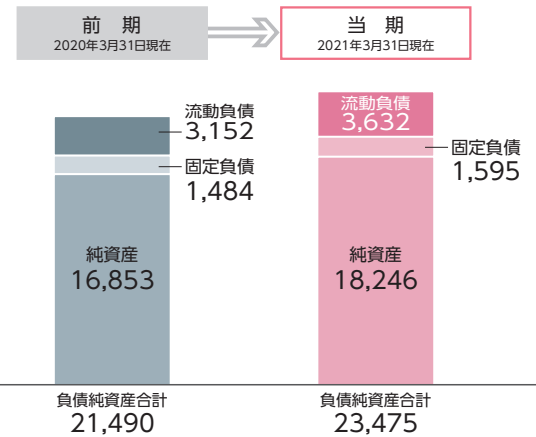


連結貸借対照表

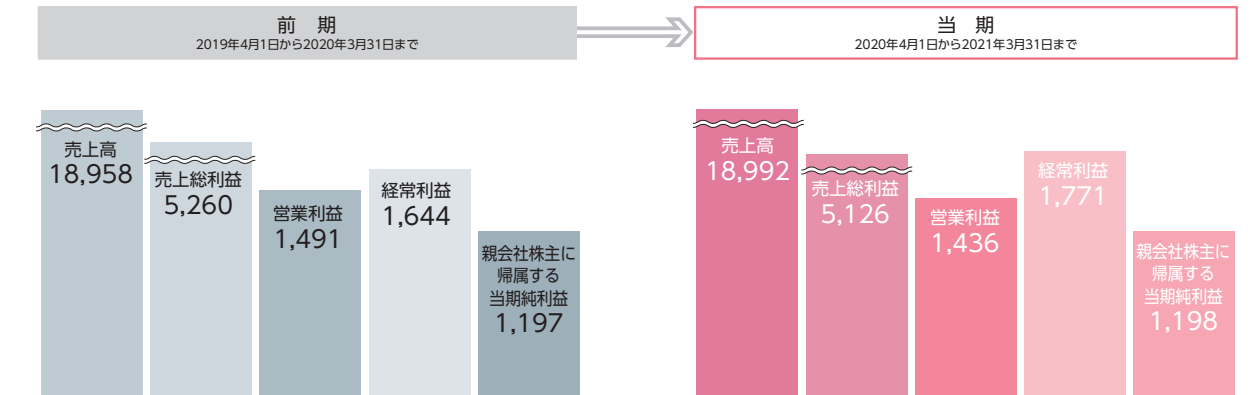
● 資産の部 (単位: 百万円)



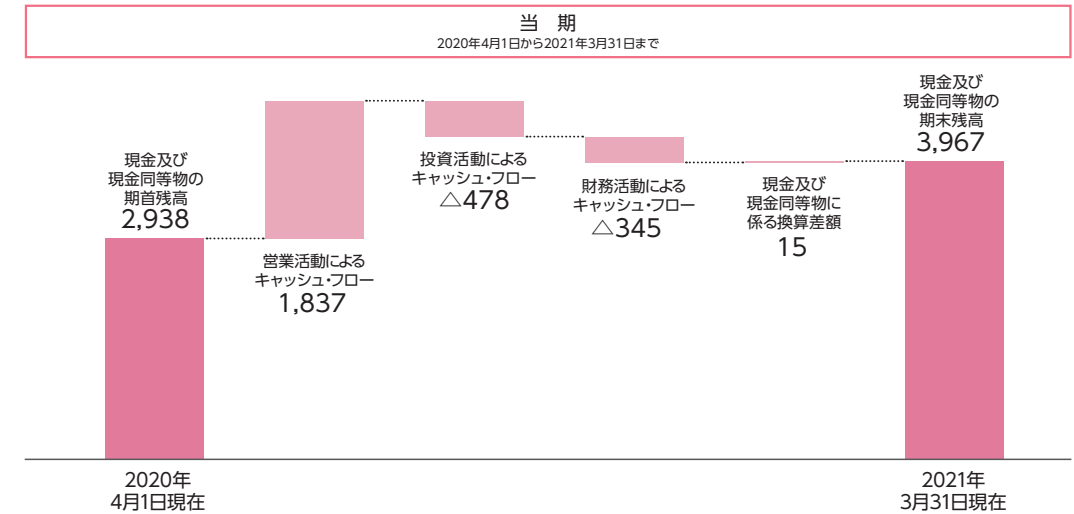
● 負債・純資産の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前期末に比べ11.1%増加し、10,534百万円となりました。これは主として現金および預金の増加等によるものであります。また、固定資産につきましては、前期末に比べ7.7%増加し、12,940百万円となりました。これは主として投資有価証券の増加等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前期末に比べ15.2%増加し、3,632百万円となりました。これは主として未払法人税等の増加等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前期末に比べ7.5%増加し、1,595百万円となりました。これは主として繰延税金負債の増加等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前期末に比べ8.3%増加し、18,246百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加等によるものであります。

会社概要

商号	フジ日本精糖株式会社
英文名	Fuji Nihon Seito Corporation
設立	1949年(昭和24年)7月
資本金	1,524百万円
従業員数	55名
本社所在地	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町6番7号 電話 03(3667)7811(代表)
清水工場	〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054(334)5353(代表)
横浜共同生産工場	太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045(501)0511(代表)
子会社	協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd. FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd. UNITEC FOODS KOREA Co.,Ltd.
関連会社	太平洋製糖株式会社 マ・マーマカロニ株式会社 南栄糖業株式会社

役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長	櫻田 誠司
取締役常務執行役員	関根 郁也
取締役執行役員	吉水 あつ子
取締役	菊地 正男
取締役	高橋 明彦
取締役	曾我 英俊
常勤監査役	梶田 伸哉
監査役	上平 徹
監査役	藤田 世潤

執行役員

常務執行役員	大口 真央
執行役員	和田 正
執行役員	新野 真人

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況

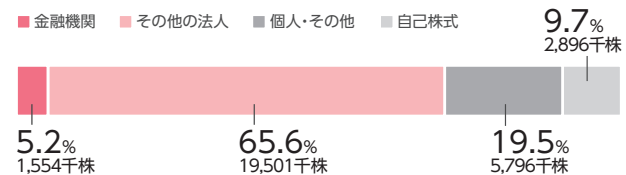
発行可能株式総数	110,000,000株
発行済株式の総数	29,748,200株
株主総数	20,595名

大株主

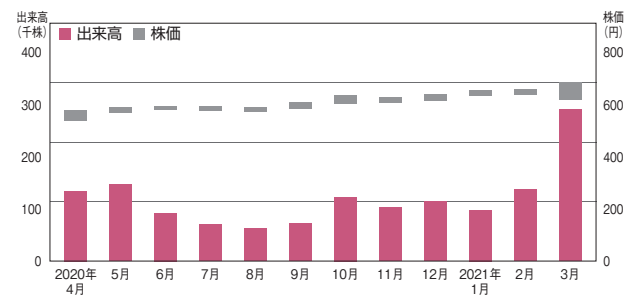
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
双日(株)	8,153	30.4
和田製糖(株)	2,408	9.0
鈴与(株)	1,902	7.1
豊田通商(株)	1,229	4.6
(株)静岡銀行	792	3.0
(株)榎本武平商店	758	2.8
小倉運輸(有)	669	2.5
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	600	2.2
(株)サカタのタネ	563	2.1
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7

(注) 持株比率は自己株式(2,896千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価の推移 (東京証券取引所実績)



新商品のご案内

水溶性食物繊維(イヌリン)を使用した機能性表示食品『イヌリーナ』を発売しました。



<3つの機能性>

- ・お通じを改善しおなかの調子を整える
- ・血中中性脂肪を下げる
- ・食後の血糖値の上昇をゆるやかにする



- ・お通じを改善しおなかの調子を整えたい方は1日1本
- ・血中中性脂肪が気になる方は1日2本
- ・食後の血糖値が気になる方は1回2本を目安に、食事とともにお召し上がりください。

5g×30本入 2,160円(税込)

手軽に持ち運べる5gスティックで、1本あたりイヌリン4.5g以上が摂取できます。さとうきび由来の、ほのかに甘い風味が特長です。コーヒーや紅茶などのお飲み物に溶かしてお召し上がりください。

フジ日本ビル新築工事について

当社は、2021年4月に株式会社東横インとフジ日本ビル新築工事及び運営に関する合意書を締結いたしました。

ホームページのご案内



当社のホームページでは、IR情報や商品情報、社会貢献活動などさまざまな情報を掲載しており、ネットショッピングもお楽しみいただけます。また、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットからも閲覧しやすいレイアウトとなっておりますので、是非ご覧ください。当社は今後もウェブサイトの速報性を活かし、お客様・株主様にさまざまな情報を発信してまいります。

フジ日本精糖

検索

<https://www.fnsugar.co.jp/>



## 株主優待について

毎年3月31日現在で当社株式をご所有の株主の皆様へ、所有株式数に応じた自社製品詰め合せを毎年6月に贈呈しております。

100株以上	1,000円相当の自社製品
1,000株以上	3,000円相当の自社製品



1,000円相当の自社製品



3,000円相当の自社製品

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL <a href="https://www.fnsugar.co.jp/">https://www.fnsugar.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

 **フジ日本精糖株式会社**

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町6番7号  
TEL : 03-3667-7811 <https://www.fnsugar.co.jp/>

**UD  
FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。